

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆道路保全事業費

1. 事業概要

安全で快適な道路環境を維持するため、舗装、側溝及び道路附属物（標識、照明灯等）の整備・修繕を行ったり、道路メンテナンスサイクルを確立するための道路土工構造物（長大切土、高盛土等）点検を実施し、必要な補修箇所の対応を検討するなど、道路を適切な状況に保全するための事業です。

2. 令和7年度実施内容

- ・舗装、側溝、道路附属物の修繕・更新工事
- ・道路照明灯のLED化
- ・道路土工構造物の点検 ほか

道路土工構造物の点検



点検イメージ

道路附属物



(整備前)



(整備後)

道路附属物



(整備前)



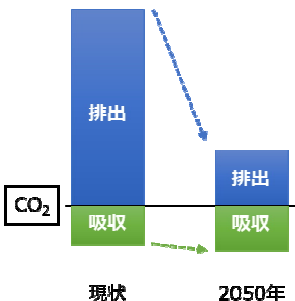
(整備後)

門型標識を片持ち式標識に集約

道路におけるカーボンニュートラルに向けた取組み

「ゼロカーボンやまがた2050」(令和2年8月6日)に基づき2050年までに二酸化炭素排出の実質ゼロを目指します。道路分野でも、二酸化炭素の排出量を大きく削減させる取組みの中で、道路照明灯をLED化し、化石燃料由来のエネルギー消費の抑制を図る取り組みを行っています。

道路分野における
「ゼロカーボンやまがた2050」
への貢献のイメージ



消費電力：125W



消費電力：285W

ランプ寿命：60,000時間 (約2.5倍長持ち) ランプ寿命：24,000時間

LED化による効果

出展：国土交通省近畿地方整備局資料

(更新前)



夜間

(更新後)



灯具LED化



夜間

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆港湾施設管理運営費

1. 事業概要

臨港道路や緑地に設置されている既存照明灯のほとんどが水銀灯であるため、「酒田港港湾脱炭素化推進計画（R6年3月）」に則り、水銀灯よりも消費電力が低く、長寿命であるLED照明に更新し、温室効果ガスの削減とライフサイクルコストの低減を図ります。

2. 令和7年度実施内容

- ・ 船場町緑地
- ・ 大浜緑地
- ・ 北港第1号緑地
- ・ 北港第2号緑地
- ・ 大浜運河線
- ・ 外港ふ頭2号線
- ・ 古湊線



◆臨港道路の照明灯更新



照明灯更新前



照明灯更新後

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆酒田港施設整備費【特別会計】（うち上屋照明灯更新、太陽光設備）

1. 事業概要

酒田港では、山形県の脱炭素社会の実現に貢献するため、「酒田港港湾脱炭素化推進計画（令和6年3月）」を策定しております。その計画に基づき、以下の事業を実施することで温室効果ガス排出量の削減とライフサイクルコストの低減を図ります。

- 各上屋の照明灯LED化
- 高砂ふ頭への太陽光発電設備の導入

2. 令和7年度実施内容

- ・照明灯LED化工事の実施
大浜ふ頭上屋
古湊ふ頭上屋
- ・太陽光発電設備導入のための設計
高砂ふ頭



◆上屋の照明灯更新



・古湊ふ頭上屋



・LED照明への更新

◆太陽光発電設備の導入



・高砂ふ頭

1 安全・安心で持続可能な暮らしを確保する県土強靱化の推進

◆流域下水道事業【公営企業会計】（うち汚泥再生利用関係）

1. 事業概要

【堆肥化】

本県の流域下水道の汚泥処理については、全て県内の民間処理業者へ委託し、高い割合で有効利用を図っています。

令和5年度の実績は、処理量の93.2%が再生利用され、56.6%をコンポスト化（堆肥化）しています。

【消化ガス発電】

山形浄化センターでは、下水汚泥を消化タンクで加温し、消化（メタン発酵）させることで、汚泥の減容化を行っています。その消化過程で副次的に発生する消化ガスを発電に利用し、電力の自給化を図っています。

◎令和5年度電力自給率 約34%

2. 令和7年度実施内容

【堆肥化】

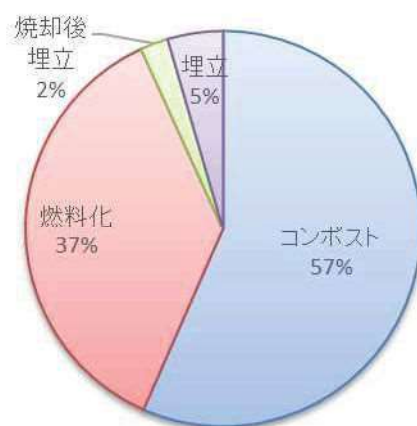
今後も、肥料需要の状況把握・流通経路の確保等について、農政部局と連携し、山形県汚泥リサイクル協議会との意見交換等で民間処理業者の動向を注視しながら最大限の有効利用に努めます。

【消化ガス発電】

引き続き効率的な運転に努め、低炭素・循環型社会の構築に向けて貢献していきます。

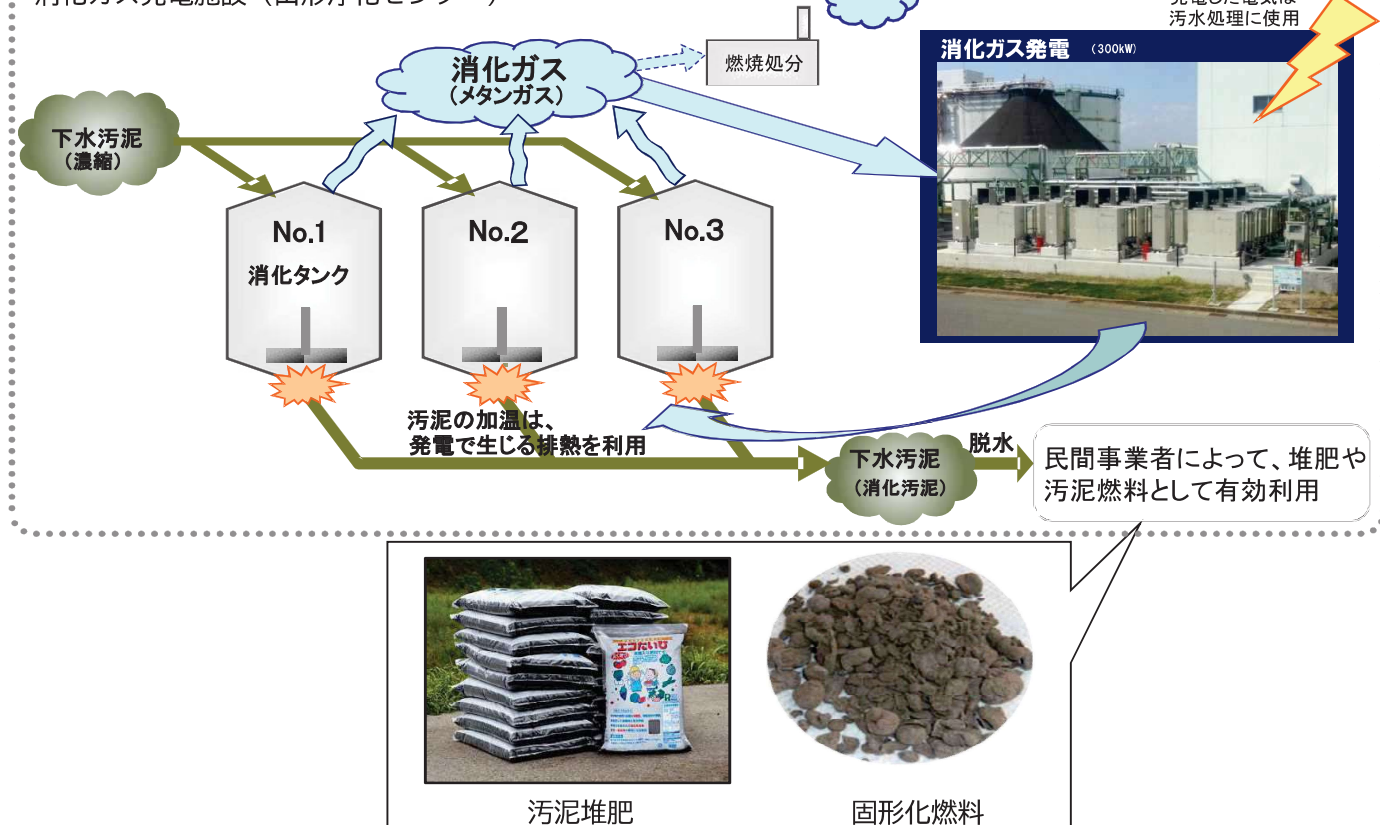
◎令和5年度 下水汚泥処理状況 単位:t

		処理数量	(比率)
有効利用	コンポスト	12,980	(56.6%)
	燃料化	8,385	(36.6%)
	計	21,365	(93.2%)
最終処分	焼却後埋立	524	(2.3%)
	埋立	1,042	(4.5%)
	計	1,566	(6.8%)
合計		22,931	(100.0%)



◆事例紹介

消化ガス発電施設（山形浄化センター）

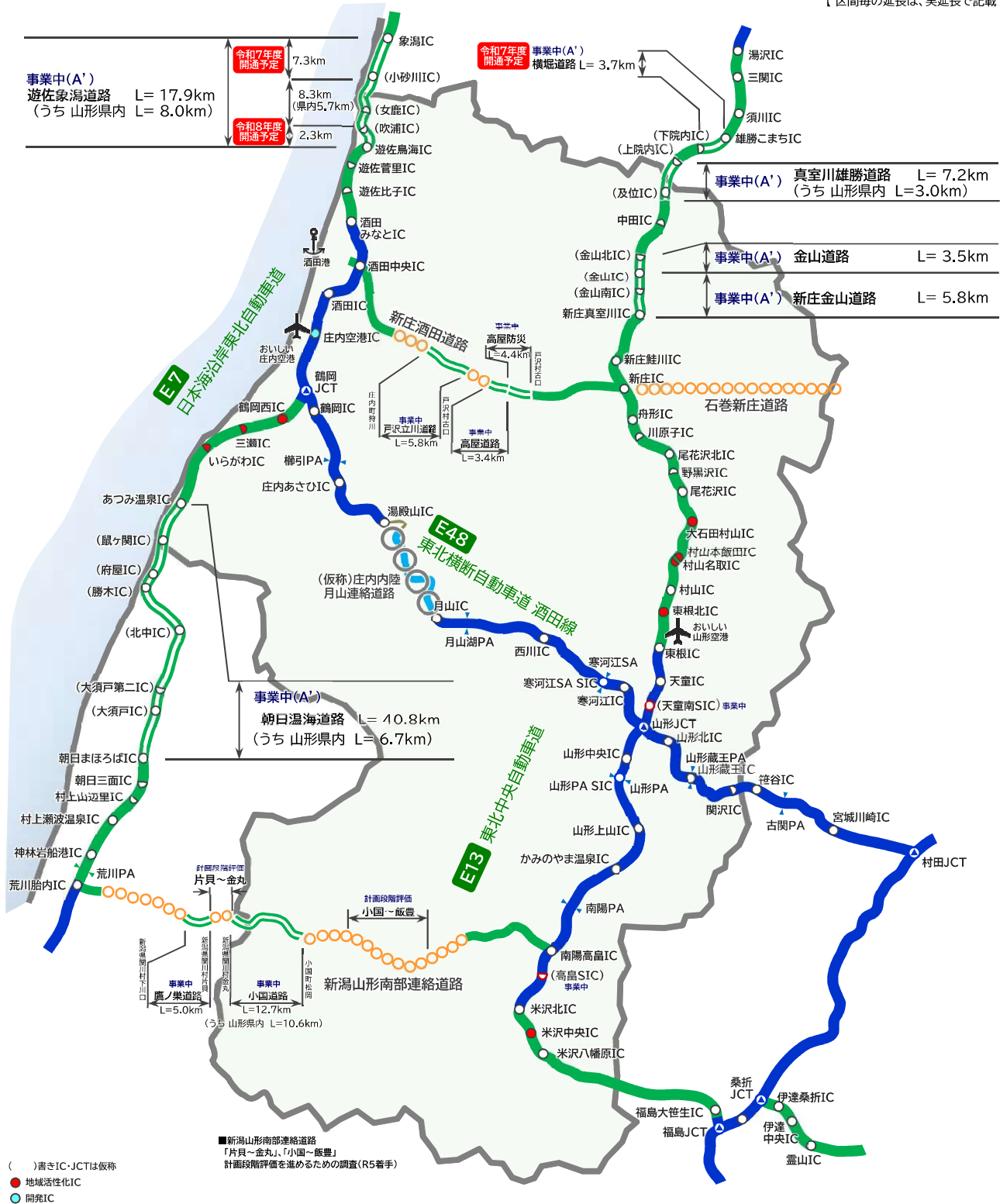


2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

山形県の高規格道路の整備状況

令和6年12月31日現在

【区間毎の延長は、実延長で記載】



凡 例	
高規格道路	
供用区間(有料)	
供用区間(無料)	
事業中区間(無料)	
調査中区間	
構想路線	

	全国 ※1		東北6県 ※2		山形県	
	延長(km)	供用率	延長(km)	供用率	延長(km)	供用率
予定路線延長	11,520		1,882		340	
供用延長	10,323	90%	1,773	94%	292	86%

※1 旬刊高速道路（発行：全国高速道路建設協議会）令和6年12月25日No.1962号による
※2 全国高速道路建設協議会調査より 山形県独自集計

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆道路改築事業費

1. 事業概要

県土の基盤となる広域道路・地域内道路ネットワークを整備することで、産業や観光の振興に不可欠なヒト・モノの交流を支えるとともに、大規模災害時にも有効に機能するダブルネットワーク化を推進します。

2. 令和7年度実施内容

(1) 広域道路ネットワークを生かすインターチェンジ（IC）や拠点へのアクセス道路の整備

- ・高速道路・高規格道路のICに接続するアクセス道路の整備を推進します。
- ・重要物流道路の基幹道路同士や物流拠点を結ぶアクセス道路の整備を推進します。

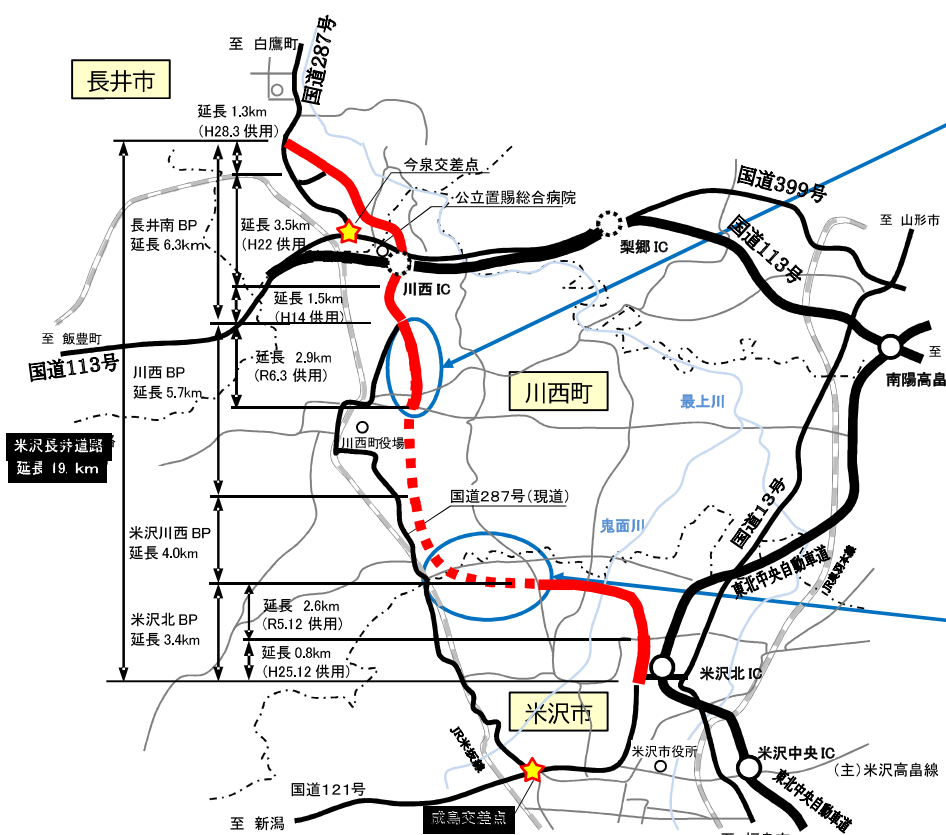
(2) 生活圈間、都市間ネットワーク及び生活幹線道路の整備

- ・一般国道や主要な県道において、道路の改築、拡幅やバイパスの整備を推進します。
- ・地域の実情に応じた効率的な整備を推進します。
(交通量の少ない道路の部分的な拡幅や待避所の設置、屈曲部の視距改良など)



(国) 458号 (本合海バイパス工区)
(R6.8.4供用開始)

◆事例紹介 : 国道287号 米沢長井道路



川西バイパス開通(川西町)



米沢川西バイパス施工状況(米沢市)

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆空港整備事業費

1. 事業概要

◀滑走路等舗装改良▶

山形空港の滑走路及び誘導路の舗装は、平成15、16年度の改良工事から約20年が経過し、全体的に老朽化が進み、特にクラックの進行が顕著です。

本線部に発生したクラックには、毎年注入材の充填補修を行っていますが、年々劣化の進行が速くなり、補修箇所の再劣化も確認されています。日常的な補修による長寿命化には限界があり、除雪作業による外力も加わり損傷が進行しています。舗装の損傷に伴う航空機事故や遅延が発生する前に、滑走路及び誘導路全面の切削オーバーレイによる改良工事を行い、航空機の安全な運航を確保するものです。

◀航空灯火更新▶

国では航空灯火を2030年までにLED化100%の達成に向け整備することとしており、県においても国に準拠して更新する計画としています。今般山形空港での滑走路等舗装改良に合わせて、現在のハログゲンからLEDへの更新を行うものです。

LEDに更新することにより、老朽化による消灯リスクの解消を図るとともに、省エネルギー、省メンテナンス化に寄与するものです。

◀空港の機能強化に向けた将来ビジョンの検討▶

将来に向けて地域が発展するために、空港が果たすべき役割や進むべき方向性を明確にし、その役割を果たすために必要な空港機能のあり方や取り組みをまとめた将来ビジョンを検討する必要があります。今後「山形・庄内空港将来ビジョン検討委員会（仮称）」を立ち上げ、「山形・庄内空港将来ビジョン（仮称）」の策定に向けて検討を進めます。

2. 令和7年度実施内容

◀滑走路等舗装改良▶

- ・山形空港における舗装改良工事

◀空港の機能強化に向けた将来ビジョンの検討▶

- ・山形、庄内空港将来ビジョン検討委員会（仮称）の開催

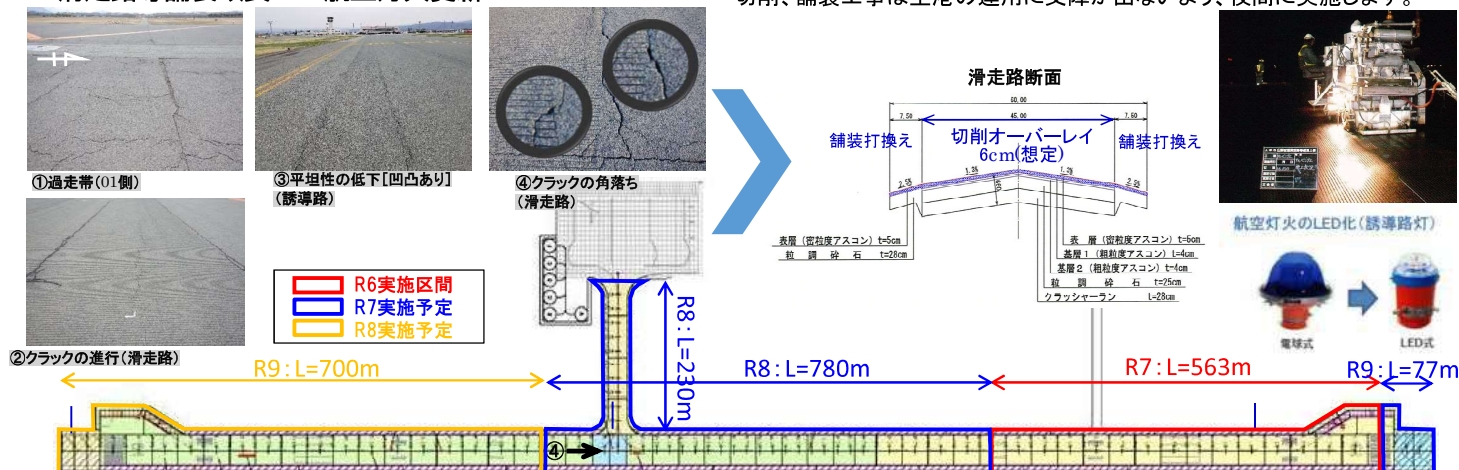
◀航空灯火更新▶

- ・山形空港における灯火更新工事

◆山形空港・庄内空港の状況

◀滑走路等舗装改良▶ ◀航空灯火更新▶

・切削、舗装工事は空港の運用に支障が出ないよう、夜間に実施します。



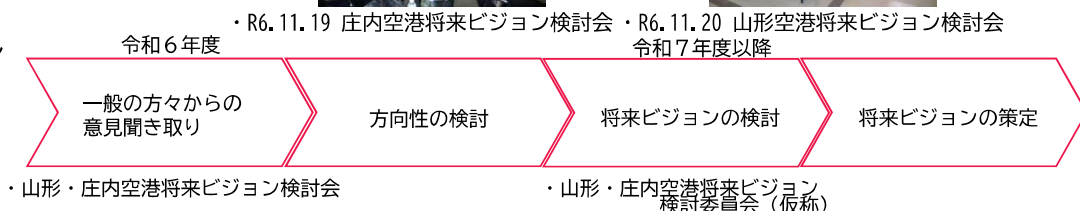
◀空港の機能強化に向けた将来ビジョンの検討▶

- ・R6の空港将来ビジョン検討会の開催状況



※R6: 測量設計

・今後のスケジュール



2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆酒田港施設整備費【特別会計】（うちふ頭舗装改良関係）

1. 事業概要

酒田港の各ふ頭（大浜ふ頭、西ふ頭、第1PBS、高砂ふ頭、古湊ふ頭、宮海ふ頭）の舗装は老朽化が進み、ひび割れや段差、沈下が生じているため、安全に荷役等が行うことができるよう舗装改良を実施します。

2. 令和7年度実施内容

- ・舗装改良工事の実施
大浜ふ頭
西ふ頭



◆ふ頭の舗装改良



大浜ふ頭の舗装沈下状況



西ふ頭の舗装沈下状況

例：ふ頭舗装の改良状況（高砂ふ頭）



改良前（ひび割れ）



改良後

2 交流を支える交通ネットワークの充実強化

◆酒田港整備事業費（うち外航クルーズ船受入体制整備関係）

1. 事業概要

外航クルーズ船寄港時におけるふ頭内の保安確保のため、保安員の配置及びフェンス等を設置します。

2. 令和7年度実施内容

- ・外航クルーズ船受入れのための保安対策の実施

外航クルーズ船寄港時の保安対策



外航クルーズ船寄港時の保安員の配置、フェンス等の設置による保安対策の実施

◆酒田港への外航クルーズ船の寄港



ダイヤモンド・プリンセス
11万トン級（乗客定員：2,706人）



MSCベリッシマ 17万トン級
（酒田港における過去最大船）



外航クルーズ船寄港時の様子



寄港地観光に向かうクルーズ乗船客



ふ頭内の臨時観光案内所



クルーズ乗船客で賑わう酒田市内

3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

◆まちなか賑わい空間形成事業費

1. 事業概要

山形市中心市街地の文翔館や市役所、新市民会館、遊学館、教育資料館等が立地するエリアにおいて、賑わいや多様な交流を創出する空間の形成に向けて、交通状況・滞在需要等を検証する社会実験や、VRによる整備イメージを作成し、山形市や関係機関、地域住民と一体となった検討を進めてまいります。

本事業は、県内の他の自治体におけるまちづくりと一体的な取り組みのモデル事業として展開していきます。

2. 令和7年度実施内容

令和6年度のワークショップでの成果や社会実験の課題等を踏まえ、引き続き空間形成に関する議論・整備イメージを深めていく。

- ・ 整備イメージVR画像更新
- ・ 社会実験（交通状況、滞在需要等）
- ・ ワーキングチーム検討作業



◆事例紹介：整備イメージVR画像作成・社会実験の参考例

【事例1】令和6年度のワークショップと整備イメージVR画像作成



【事例2】令和6年度の社会実験（車線規制、自転車通行レーン・滞在空間設置）



3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

◆都市公園活用推進事業費（都市公園長寿命化対策）

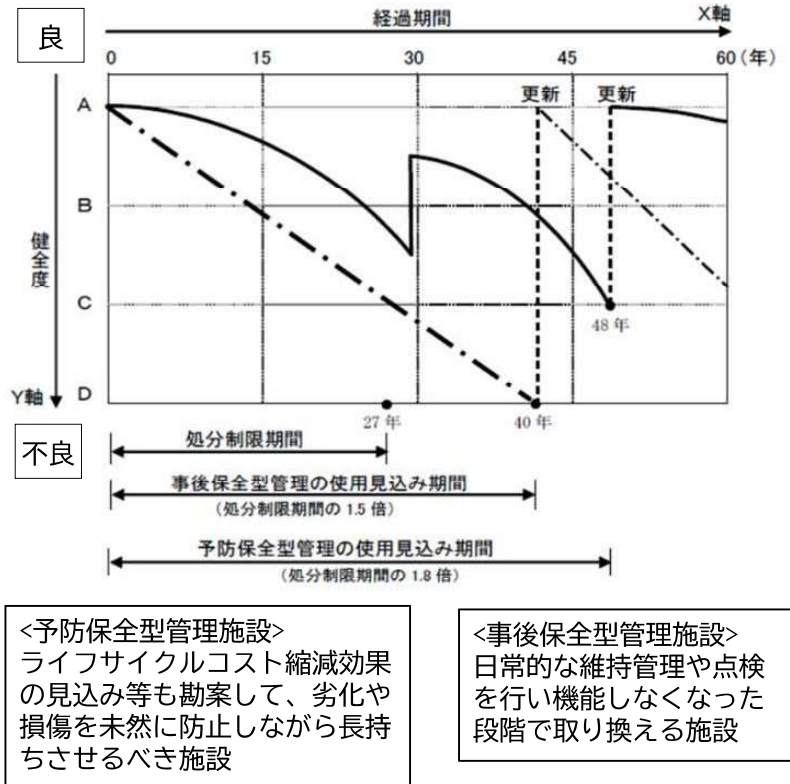
1. 事業概要

山形県が管理する都市公園は、老朽化が進行しており、施設の修繕・更新が必要となっています。

このため、安全・安心に利用していただけるよう、「山形県都市公園長寿命化計画」を策定し、計画的に施設の修繕・更新などの長寿命化対策を実施しています。

2. 令和7年度実施内容

山形県総合運動公園総合体育館（空調設備）や陸上競技場、中山公園野球場（躯体防水）など6公園で修繕・更新工事を実施します。



◆事例紹介：山形県総合運動公園 総合体育館アリーナ施設改修（天童市山王地内）

<施設の紹介>



総合体育館 全景



メインアリーナ利用状況
(Bリーグ山形ワイヴァンズ公式戦)

<改修概要>

照明設備、メイン・サブアリーナ床、屋根等の改修



照明設備(R3完了)



サブアリーナ床(R4完了)



メインアリーナ床(R5完了)



屋根改修(R6完了)

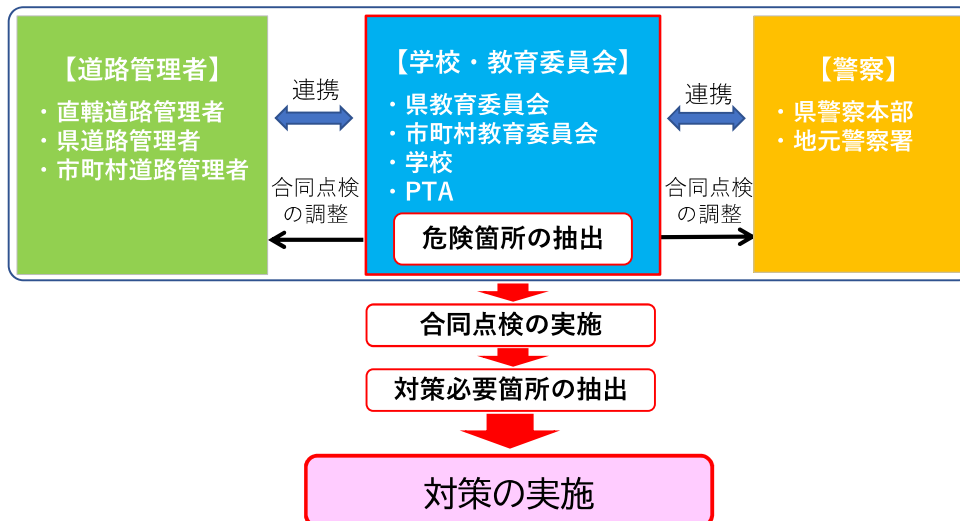
3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

◆交通安全道路事業費 ～通学路の合同点検等を踏まえた安全対策の推進～

1. 事業概要

通学時の児童を交通事故から守るため、学校や教育委員会、警察及び道路管理者が連携して通学路の点検を行い、ハード対策が必要とされる箇所については、緊急的な対策としての歩行空間のカラー化や、恒久的な対策としての歩道設置、交差点改良等を実施します。

2. 令和7年度実施内容



上山市立南小学校学区における通学路合同点検の実施状況

◆事例紹介：通学路点検結果に基づく対策実施事例

危険な箇所には緊急的な対策を実施します

交差点の巻き込み部への車両防護柵の設置などにより、交差点付近での児童への車両の衝突を防止します。



車両防護柵など

(国)348号
白鷹町立荒砥小学校学区

恒久的な対策として歩道整備等も推進します

通学児童数が多く、危険性の高い箇所においては、歩道の新設や改善を着実に進めます。



(主)余目加茂線
三川町立東郷小学校学区

3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

◆流域下水道事業【公営企業会計】（うち流域下水道整備関係）

1. 事業概要

本県では、市町村の行政界を越えて一体的な污水处理を実施した方が効率的な地域において、流域下水道事業として処理場や主要な下水道管の整備・維持管理を行っており、現在、山形、村山、置賜、庄内の4つの地域で事業を実施しています。

2. 令和7年度実施内容

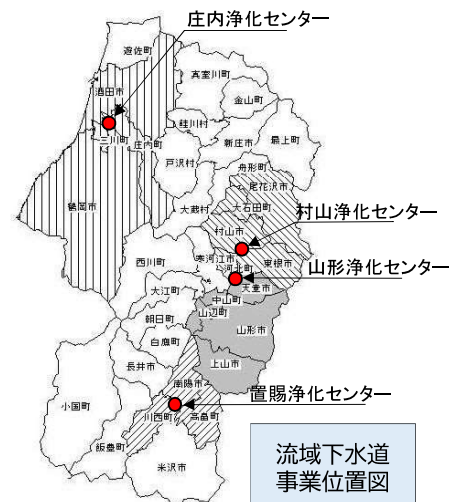
- ①ストックマネジメント計画に基づく施設の改築更新
テレビカメラによる劣化度調査等を含む管路点検、処理場の設備更新等の実施
- ②流域下水道施設の整備
酒田市松山地区の流域下水道編入に伴う管路整備工事の実施
- ③上下水道耐震化計画に基づく施設の耐震化
管路施設の耐震化工事及び詳細設計の実施
- ④耐水化計画に基づく施設の耐水化
処理場施設の耐水化詳細設計の実施



管路点検(マンホール点検)



管路点検(管渠目視点検)



流域下水道
事業位置図

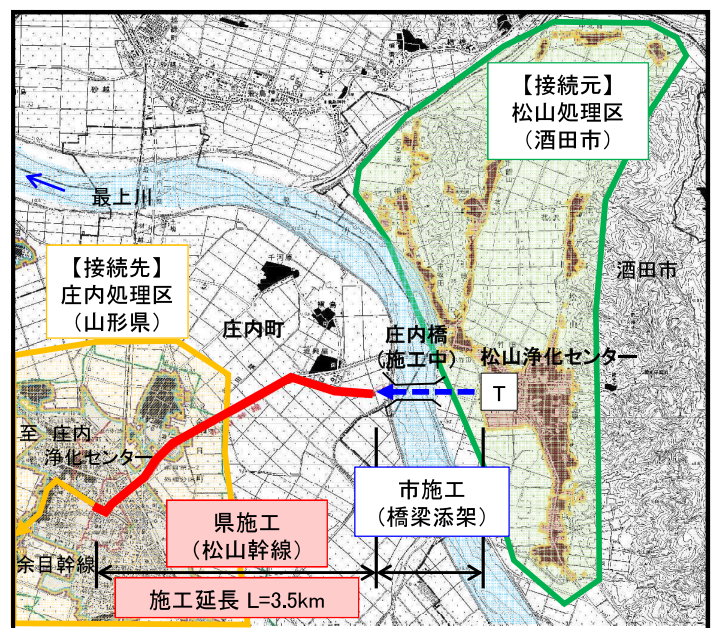
◆事例紹介



管路点検
(テレビカメラ調査)



管路施設の耐震化
(マンホール浮き上がり防止)



概要図 流域下水道施設の整備
(酒田市松山地区の流域下水道編入)

3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

◆やまがたの誇れる景観魅力発信事業費

1. 事業概要

山形ならではの美しい景観を体感できる「『やまがた景観物語』おすすめビューポイント」を通じて誇れる景観の魅力を広く発信することで、「将来にわたって景観を整備保全する県民意識の醸成」と、景観を切り口とした「地域の個性や多様な交流の促進による地域活性化」を図ります。

2. 令和7年度実施内容

(1) 誇れる景観を学ぶ場の提供

①景観出前授業【継続】

市町村と連携し、小中学生を対象とした景観の出前授業を開催します。

②景観探険まちあるき【継続】

地域住民が地域の魅力ある景観を再認識するためのまちあるきを開催します。

③広告景観コンテスト【継続】

景観づくりに貢献する屋外広告物の普及を目指し広告景観コンテストを開催します。

(2) 誇れる景観の情報発信

④Instagramフォト・ムービーコンテスト、巡回写真展【継続】

SNSを利用したフォトコンテストを開催し、魅力あふれる投稿写真を展示する写真展を県内各所で巡回開催します。

⑤景観ファンクラブの運営【新規】

景観事業に賛同・応援してくれる方々とビューポイントで景観保全に取り組む地域の方々との関係人口を増やすため「景観ファンクラブ」の運営（季節毎の見所や催し物情報・保全活動の状況等を掲載した会報の定期発行）を実施します。

(3) 誇れる景観の環境整備

⑥景観ビューポイントサポーター感謝状贈呈【継続】

ビューポイントで景観保全に取り組む地域の方々に感謝状を贈呈し、将来にわたって美しい景観が持続されるよう、活動のPRや取組内容の共有などにより関係者間のつながりを創出します。



◆事例紹介

①景観出前授業



②景観探険まちあるき



③広告景観コンテスト



⑤景観ファンクラブ



⑥景観ビューポイントサポーター感謝状贈呈



④Instagramフォト・ムービーコンテスト



3 山形暮らしの魅力向上を支える県土の形成

◆空き家対策推進事業費

1. 事業概要

地域の空き家問題の解決を図り、山形県民が望む良質な住環境づくりを推進するため、次の取組みを行います。

- (1) 良質な中古住宅の購入者への支援
- (2) 市町村との連携による空き家対策に取り組む人材の育成、ワークショップの開催等の実施



2. 令和7年度実施内容

(1) 中古住宅取得支援

一定の基準に適合する中古住宅を購入する方に対し、住宅ローンの利子相当額の一部を補助。

対象世帯	要件	住宅ローン 対象額・利率	補助金額	予定戸数
一般世帯	既存住宅売買瑕疵 保険等加入 など	1,500万円・0.4%	最大30万円	25戸
移住・新婚・ 子育て世帯			最大40万円	

(2) 市町村と連携した空き家対策の推進

①空き家の発生抑制のための事業

空き家の発生抑制のために、住まいの将来について考えるきっかけづくりとして「終活セミナー」を開催します。

(終活セミナーR6実績) 村山市、山辺町



【終活セミナーの様子(村山市)】

②山形県空き家対策エリアマネージャーの認定

地域の空き家問題の解決を図り、県民に望まれる良質な住環境づくりを担う人材を確保・育成するため、地域や市町村と連携した空き家対策に取り組む者を「山形県空き家対策エリアマネージャー」として認定します。

(認定実績) 3事業者を認定

(一社)ウコギ社(米沢市)、(一社)温故知新(新庄市)、㈱ネクサス不動産(中山町)

③市町村と民間事業者等の連携に向けて、それぞれに継続的なサポートを実施

研修会やワークショップを実施し、市町村の意識改革や民間との連携手法の構築を図るとともに、認定候補者となる民間事業者等に対して、市町村と連携した空き家対策の実施を促し、空き家対策エリアマネージャーの育成を図ります。

4 建設DXによる生産性向上と人材の育成・確保

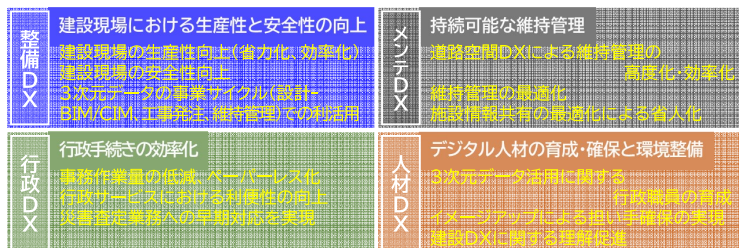
◆建設DX推進事業費

1. 事業概要

「地域の守り手」である建設産業は、豊かで安全安心な県民生活、経済活動を支えていく上でなくてはならない産業ですが、就業者数の減少や高齢化が急速に進んでいます。

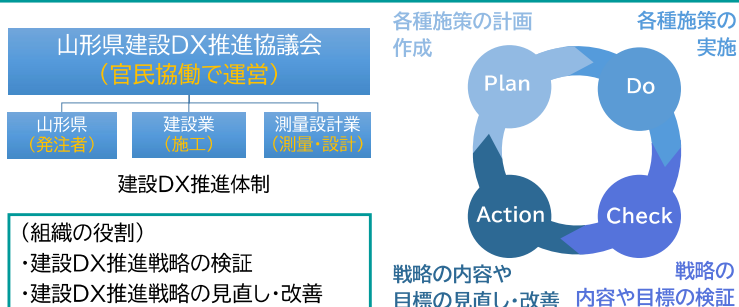
こうした中、将来にわたって魅力的な産業として担い手を確保しながら、安定的に発展し続けていくことができるよう令和5年12月に「山形県建設DX推進戦略」を策定し、4K（給与が高い・休暇が取れる・希望が持てる・カッコいい）実現に向けて、官民双方の生産性向上や働き方改革を協働で推進していきます。

本事業では、ICT活用工事等の推進及び3次元データの活用に向けた人材育成と環境整備を進めていきます。



山形県建設DX推進戦略「県民の安心安全な暮らしにつなげる4つの柱」

推進戦略の確実な推進を統括する組織として、「山形県建設DX推進協議会」を設立し、官民が連携・協力し、各分野のエキスパートが主体的に建設DXの推進に取り組む体制を構築する。



2. 令和7年度実施内容

○山形県建設DX推進協議会

山形県建設DX推進戦略を推進するため、官民が連携した山形県建設DX推進協議会において、推進戦略に掲げた施策の検証、見直し及び改善等を実施

○人材育成及び環境整備

<人材育成>

- ・建設現場における生産性向上に向けたICTの活用を実践できる技術者を育成するための研修を実施
- ・将来の担い手確保につなげるため、中高生を対象に、建設業の可能性と魅力を伝える、最新のデジタル技術の体験会を開催

<環境整備>

- ・測量、施工、検査などの全プロセスにおいて3次元データの活用による効率化・高度化を図るため、各プロセスを結ぶ役割を担う県が3次元データを扱える環境を整備

ICT活用工事の施工例 (3次元データを活用した盛土工事)



<従来の施工>

目印や補助作業員を設置し、オペレーターが目視による確認を行いながら施工



省人化、作業時間の短縮、品質の向上

<ICT施工>

3次元設計データを取り込んだICT建機がオペレーターへのガイダンスや自動制御を行う施工
(目印や補助作業員の設置が不要)

ICT活用に関する各種研修の様子



◆道路空間DX事業費

1. 事業概要

本県では約3,100kmの道路の維持管理を行っていますが、今後、高規格道路の開通等により管理延長や管理施設が増加し、維持管理コストの増加が見込まれています。一方で、建設業界は人手不足や高齢化等の課題を有し、現状の管理水準を維持することが困難となることが危惧されています。

これらの課題への対策の一つとして、舗装路線2,863kmについて、MMS^{*1} やULS^{*2} 等を活用し、道路法面や道路附属物を含む道路環境全体について、3次元点群データ^{*3} を取得し、網羅的な把握を進めています。

さらに、取得したデータをインターネット上でオープンデータ^{*4} として公開することで、3次元点群データの利活用を促進し、法面点検や災害対応等の業務における道路維持管理の省力化・効率化を目指します。

2. 令和7年度実施内容

- ①「プラットフォーム」の運用管理
- ② 利活用促進に向けた「ワークショップ」等の開催



*1 Mobile Mapping System (モビルマッピングシステム)

→ 3次元レーザー計測器とデジタルカメラによって、**道路周辺の3次元点群(座標)データと360°連続カラー画像データ**を同時に取得する、車両搭載型測量システムのこと。

*2 無人航空機搭載型レーザースキャナー

→ 3次元レーザー計測器を搭載したUAV(ドローン)

*3 3次元点群データ

→ X,Y,Z座標を持ち、コンピュータ上で扱うことが出来る、地形や構造物を表現した「点」の集合体

*4 オープンデータ

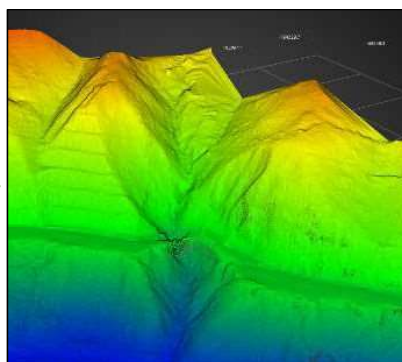
→ 諸課題の解決、高度化、効率化等を目的として、誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できるような形で公開されたデータ

◆活用事例

施設点検への活用(法面)



点検対象箇所の点群データをダウンロード

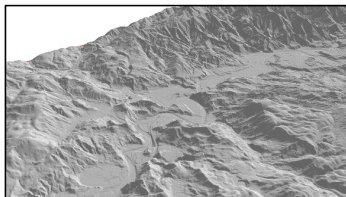


データ上で樹木を除去し、地表面を表示



現地にて変状部を効率的に点検

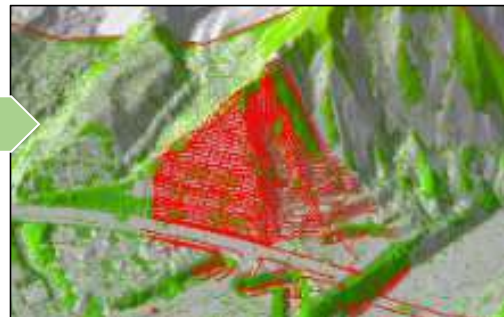
災害復旧への活用



被災箇所の点群データ(被災前)をダウンロード



被災前後のデータを重ね合わせ



差分を解析し、被害規模を数値化・可視化



被災箇所の点群データを取得

- ・その他、現場における測量作業の軽減(事前に机上で計測可能)
- ・その他、景観検討、運転支援技術等への活用等も期待される。

4 建設DXによる生産性向上と人材の育成・確保

◆建設業魅力発信事業費

1. 事業概要

建設業は、インフラの整備のみならず、インフラの維持管理や災害対応など、地域を守り支える役割を担う必要不可欠な産業です。

しかしながら、本県の建設業就業者は減少と高齢化が進んでおり、将来にわたって持続的に発展していくためには、若者に加え、多様な人材の入職を促進することが必要となっています。

そのため、将来の職業など進路を考える最初の時期である中学生や、その保護者、先生等に対し新しい建設業の姿をアピールし、建設業に興味を持ってもらえるよう、（一社）山形県建設業協会と連携して、先進的な建設現場の見学会等を開催します。また、建設業の魅力を効果的に伝え中学校の総合学習の時間等で活用できるコンテンツを作成するとともに、出前授業を実施します。



2. 令和7年度実施内容

○出前授業コンテンツの作成

- ・建設業が社会に果たしている役割や、ICT施工・4K（給与が高い・休暇が取れる・希望が持てる・カッコいい）など、新しい建設業の姿を紹介する動画等のコンテンツを作成し、出前授業を実施。

<イメージ>

＊テーマ「快適に働ける職場環境」

内容：15分動画＋15分体験＋15分講義資料

＊テーマ「凄いぞ！建設DX。建設業はカッコイイ！」

内容：15分動画＋60分ドローン体験＋15分講義資料



中学校の総合学習等で活用できる出前授業コンテンツを作成

○中学生等を対象とした現場見学会の開催

- ・先進的な建設現場の見学会等を開催し、若い世代から建設業に対する「親近感」を醸成。
- ・参加者の姿や生の声などを動画の中に取り込み、建設業の魅力を身近に感じられる出前授業コンテンツとなるよう工夫。



先進的な建設現場の見学会や技術者との意見交換会を開催

4 建設DXによる生産性向上と人材の育成・確保

◆建設業人手不足対策事業費

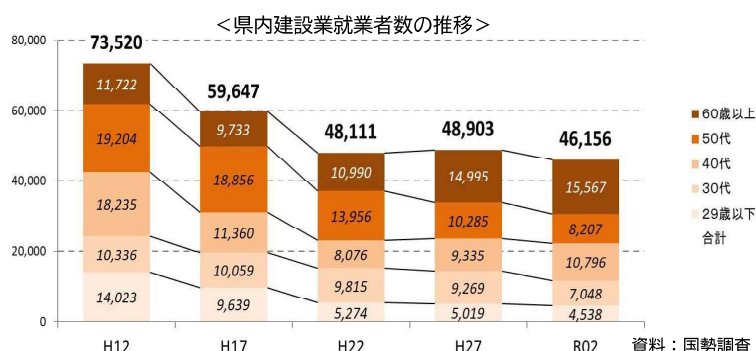
1. 事業概要

建設業は、インフラ整備に加え、その維持管理や災害対応など、地域を守り支える重要な役割を担っていますが、就業者数の減少や高齢化が進行しています。

現在、官民が連携して、生産性向上に向けたDX推進やまだ数の少ない女性技術者など若手就業者の確保に取り組んでいますが、我が国・本県の人口減少や高齢化に歯止めがかからない場合、長期的には人手不足がより深刻化することが危惧されます。

他産業で活用が進んでいる外国人材等について、県内の建設業で活用している企業は一部にとどまっていますが、今後は選択肢として重要性が増していく可能性があります。

こうした将来に向けて、県内建設業における女性や外国人材の活用について理解を促進していくため、セミナーの開催やキャリア形成・定着促進のための資格取得の支援等を行います。



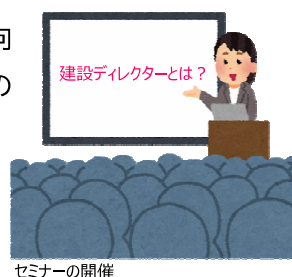
2. 令和7年度実施内容

①多様な人材確保支援事業

女性や外国人材など多様な人材の確保・活用に向けた経営者等向けのセミナーを開催します。また、外国人就労者に対し、山形での就労や生活についての感想、課題等の聞き取りを行うためインタビューを実施します。

【セミナーの内容】

- ・建設業における女性の働き方（建設ディレクター制度等）やキャリアアップ方法を学ぶセミナー
- ・外国人の就労制度や先進事例を紹介するセミナー



②キャリアアップ支援事業

- ・女性のキャリア形成推進のため、女性を雇用している建設業者に対し、技術検定と建設ディレクター資格取得のための費用等の助成を行います。
- ・外国人材の定着促進のため、外国人を雇用している建設業者に対し、技術検定と技能実習生の技能検定の費用等の助成を行います。



資格取得への支援

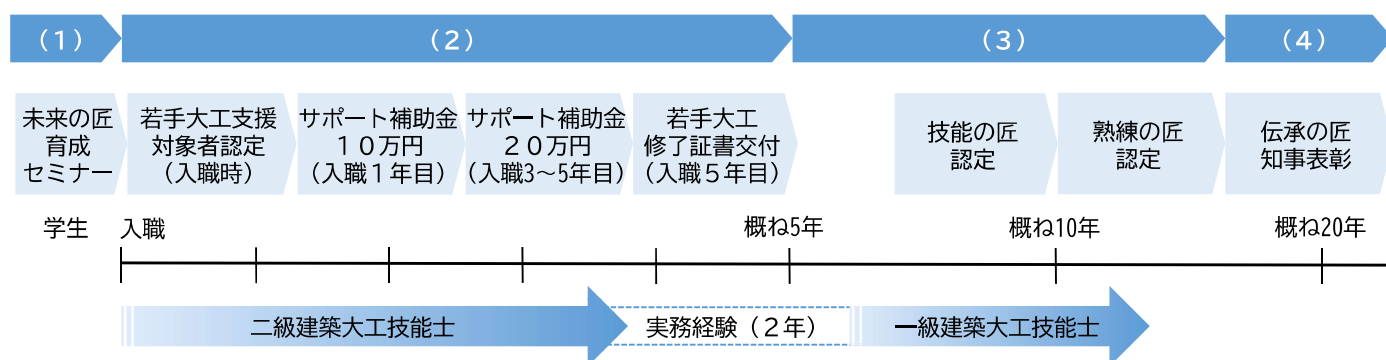
4 建設DXによる生産性向上と人材の育成・確保

◆やまがたの木造住宅建設担い手育成事業費

1. 事業概要

県内住宅関連産業の活性化と大工技能者の育成のため、次の取組みを行います。

- (1) 山形の家づくり「未来の匠」育成事業（大工の魅力を伝えるセミナーの開催支援）
- (2) 若手大工技能習得サポート事業
- (3) 木造建築「技能の匠」「熟練の匠」認定
- (4) 木造建築「伝承の匠」知事表彰（木造住宅建築担い手育成者の表彰）



2. 令和7年度実施内容

- (1) 山形の家づくり「未来の匠」育成事業
○高校生等に大工職の魅力を伝え、大工入職への動機付けを行うことを目的とするセミナーの開催を支援します。
- (2) 若手大工技能習得サポート事業
○新規入職から概ね5年間で「若手大工育成支援プログラム」とし、大工を育成します。
○新規入職者を支援対象に認定し、資格取得や技能習得を条件としてサポート補助金を直接交付します。
○プログラム修了時に、技能習得の状況を確認し、修了証書を交付します。
○技能の継承と若手大工の交流のための勉強会（現場見学会）を開催します。
- (3) 木造建築「技能の匠」「熟練の匠」認定
○高い技術と経験を有する大工技能者を認定します。
○認定された「技能の匠」「熟練の匠」の方を、山形県住宅情報総合サイト「タテッカーナ」により広く全国にお知らせします。
- (4) 木造建築「伝承の匠」知事表彰
○木造住宅建築技能者の社会的評価の確立と後継者の育成促進を図るために、木造住宅建築に優れた技能、知識、経験を有し、後継者を育成した大工技能者を表彰します。

● 「未来の匠」育成事業 セミナーの様子



● 若手大工育成支援プログラム 勉強会の様子



● 「伝承の匠」知事表彰 表彰式の様子

